

# 文学の世界

責任者・コーディネーター	人間科学科文学分野 平林 香織 教授		
担当講座・学科(分野)	人間科学科文学分野		
担 当 教 員	平林 香織 教授		
対象学年	1	区分・時間数	講義 21 時間
期 間	前期		

## ・学習方針（講義概要等）

時間を超越した美しい文学は、人生のモデルともなり、人々の生きる指標やこころの支えともなる。生と死、愛と憎しみ、病と祈り、不安と恐怖、驚きと喜びなど、文学に表現されたテーマは実にさまざまであり、その表現方法も千差万別である。本講義では岩手県の文学、とりわけ石川啄木の短歌を取り上げ、その表現方法の深さと豊かさを理解し、生涯の宝となりうる文学的教養の世界への扉を開く。生きるとは自分の人生の歌を歌うことであり、他者を理解することは、他者の人生の歌に耳を傾けることである。歌ことばの理解を通して、医療人に必要な病者の歌を聴き想像力と治癒のプロセスを語る創造力を身につける。

## ・教育成果（アウトカム）

俳句・短歌・詩・小説といったさまざまな文学のジャンルの魅力を理解し、文学における非日常的なことばが持つイメージ喚起力について体感し、石川啄木の短歌の魅力を理解する。実践的な読解能力を身につけるとともに、作品について自分のことばで考える力を養う。文学の世界を理解するために、映画、漫画、アニメーション、能楽、歌舞伎といった様々な近接ジャンルについても理解を深め、人間の創り出す物語とは何かという問題に向かい合う。附属図書館や公共図書館を利用して多くの文学に触れる。生涯にわたり文学を通じて人生のさまざまな側面について学ぶ習慣を身につける。

## ・到達目標（SBO）

1. さまざまなジャンルの文学に触れ、作者の生き方や作品について理解できる。
2. 石川啄木の短歌の魅力を伝えることができる。
3. 歌の力を理解し、五七五七七のリズムを使った表現のコツをつかむ。
3. 様々な価値観・考え方に触れ、それを参考にしながら、広い視野と深い洞察力を身につける。
4. 文学の近接ジャンルにも興味を持ち、幅広い問題意識を養い育てる。
5. 生涯にわたって短歌や本をよむ習慣を身につける。

## ・講義日程

(矢) 東 207 2-E 講義室

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
4/14	木	1	人間科学科文学分野	平林 香織 教授	人はなぜ歌を歌うのか—万葉集から啄木、そして J-POP まで

4/21	木	1	人間科学科 文学分野	平林 香織 教授	歌留多文化の魅力—カードによる脳トレ—啄木めぐり
4/28	木	1	人間科学科 文学分野	平林 香織 教授	五感を拓く—啄木の短歌を耳を澄まして見る、目を凝らして聴く
5/12	木	1	人間科学科 文学分野	平林 香織 教授	啄木短歌の韻律を楽しむ—「好きなもの」短歌・折句・沓冠
5/19	木	1	人間科学科 文学分野	平林 香織 教授	歌物語を創る—啄木短歌が呼び覚ます世界
5/26	木	1	人間科学科 文学分野	平林 香織 教授	和歌の力を知る—和歌から映像へ
6/17	金	1	人間科学科 文学分野	平林 香織 教授	季題と歌枕の意味—啄木短歌に詠まれた季節と場所
6/9	木	1	人間科学科 文学分野	平林 香織 教授	和歌のルール—啄木短歌における二重写しの技法
6/16	木	1	人間科学科 文学分野	平林 香織 教授	本歌取りの魅力—啄木短歌を味わい抜いて自分のものにする技法
6/23	木	1	人間科学科 文学分野	平林 香織 教授	和歌で勝負する—歌合と歌合戦
6/30	木	1	人間科学科 文学分野	平林 香織 教授	風諭としての啄木短歌—挨拶と批評
7/7	木	1	人間科学科 文学分野	平林 香織 教授	和歌—啄木短歌による短連歌
7/14	木	1	人間科学科 文学分野	平林 香織 教授	和歌をつなぐ—啄木短歌による鎖連歌
7/21	木	1	人間科学科 文学分野	平林 香織 教授	歌がひらく関係性—医療への道

・教科書・参考書等

教：教科書      参：参考書      推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	啄木かるた	吉田光彦	奥野かるた店	2012
参	和歌のルール	渡部泰明	笠間書院	2014

・成績評価方法

受講態度（20%）、課題への取組（30%）、レポート（50%）によって総合的に評価する。

・事前学修時間

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する。

・特記事項・その他

1. 予習のポイント：啄木の歌集を「青空文庫」で検索する。
2. 復習のポイント：図書館で啄木に関する書籍を閲覧する。
3. 教科書「啄木かるた」は第 2 回の講義で販売する。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノート型 PC (Panasonic CF-J9)	1	講義資料の提示
講義	エルモ書画カメラ	1	講義資料の提示
講義	DVD (BD) プレーヤー(Logitech LBD-PUB6U3VWH)	1	教材の提示
講義	デスクトップパソコン (DELL Precision T3500 カスタマイズ)	1	講義資料作成、プレゼン、他